

平成23年度 予算決まる

一般会計 **2.3%**増 ▶ 市税 **0.8%**増 ▶

議員・委員会提出議案 **委員会条例の一部改正など4件を可決**

平成23年
3月
定例会

2月21日～
3月22日



▲本会議最終日は全員協議会室で開催(右上は伊東議長)



3月定例会は、2月21日に開会し、平成23年度予算など議案31件を審査・可決し、3月22日に閉会しました。一般質問では、14人の議員が質問に立ち、市政の重要課題を取り上げて、活発な論戦を展開しました。なお、3月11日に発生した東日本大震災により、議場も被害を受けたため、場所を変更し本会議を開きました。

市長から提案された議案は、総額435億円余の平成23年度一般会計予算と、245億円余の特別会計予算など、当初予算16件、補正予算11件、勤労青少年ホームの廃止など条例4件の、合計31件でした。
↓当初予算5P参照
これらの議案は、説明、質疑の後、各常任委員会で慎重に審査しました。
そして最終日の本会議では、冒頭、東日本大震災で犠牲となられた方々のご冥福を祈り、全員で黙とうをささげた後、委員長報告、討論・採決が行われました。
その結果、一般会計

の補正予算と当初予算、国民健康保険特別会計予算の3件は賛成多数で、その他の議案は全会一致で可決しました。
↓討論4P参照
また、市長の施政方針に対する総括質問では、会派を代表して4人の議員が質問し、3日間にわたり行われた一般質問では14人の議員が活発な論戦を展開し、執行部の考え方をたどりました。
↓総括質問概要8P、
↓一般質問概要11P、
18P参照
一方、委員会提出議案として、4月1日からの組織改正に伴い所管を改める「委員会条

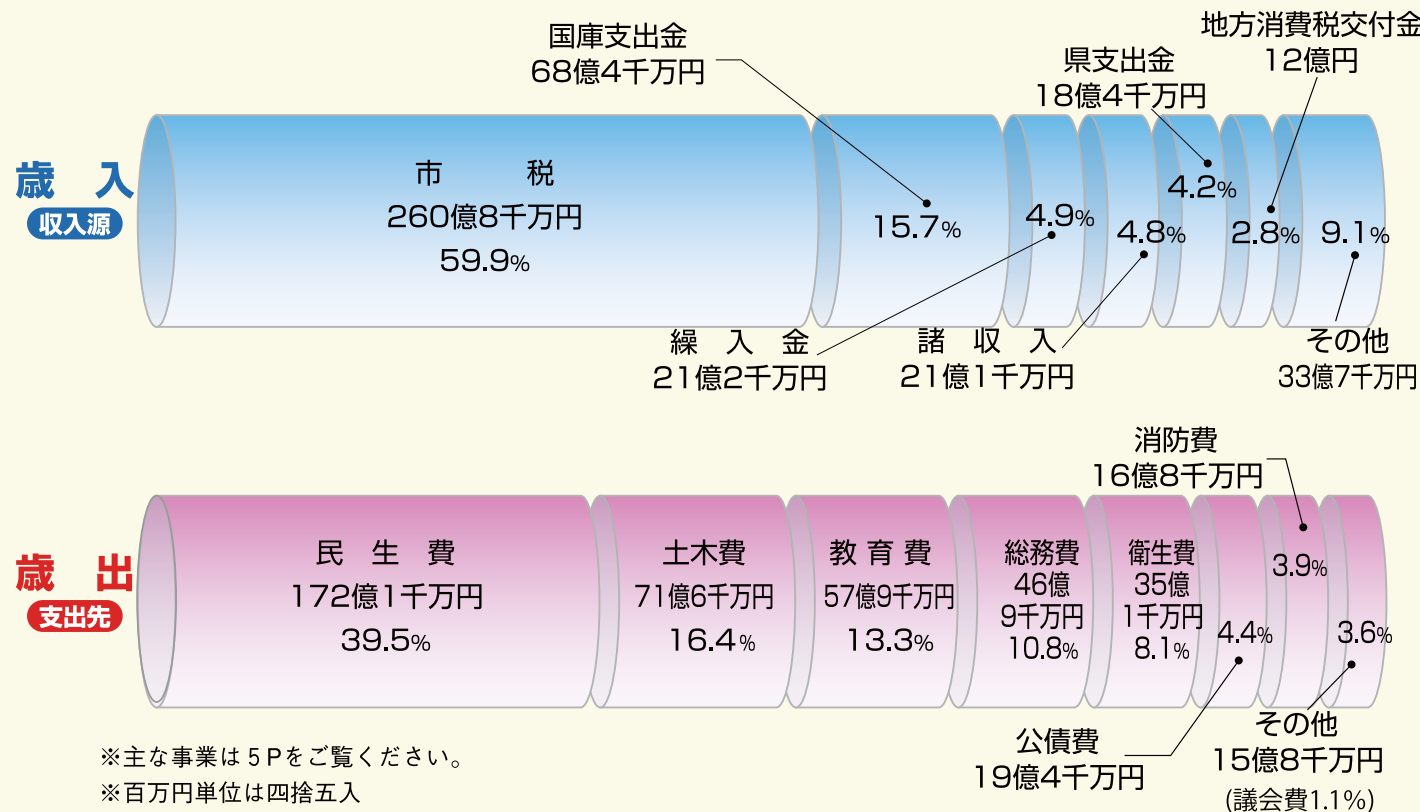
例の一部改正」と、議員提出議案として「若者の雇用対策のさらなる充実を求める意見書」など3件が提出され、いずれも可決しました。
↓意見書4P参照
なお、3件の請願は継続審査となりました。
【条例】
◎勤労青少年ホーム条例の廃止
勤労青少年を取り巻く環境の変化で、施設利用状況が低下しているため、福祉青少年会館の3階を拠点として

主な議案の概要

◎学校医等の報酬及び旅費に関する条例
学校医等の報酬及び旅費の額、支給方法を明確化するための新規制定です。
【22年度補正予算】
歳入歳出それぞれ3億9913万6000円を追加するもので、主なものは次のとおりです。
①公共施設等整備基金(2億9280万円)、都市開発基金(4億9273万円)、財政調整基金(9億1464万円)の積立金。
②公園施設遊具改良・改修工事請負費(1160万円)。
③小中学校及び図書館の図書購入費(534万円)。
④国民健康保険(1億2120万円)、新曽第一土地区画整理事業(4185万円)の特別会計繰出金

平成23年度 予算

一般会計 435億7000万円 今年はこのように使います



※主な事業は5Pをご覧ください。
※百万円単位は四捨五入



▲4月1日、福祉保健センターがオープンしました

いる同ホームを24年4月1日をもって廃止するものです。
◎起業支援センター条例の一部改正
これまで7年間の事業内容を検証し、敷金削減や入所期間などの規定を明確化するもの。規定を明確化するもの。◎国民健康保険条例の一部改正
出産育児一時金(39万円)の暫定措置を恒久化するものです。